

最近の管内経済概況

(2024年9月の経済指標を中心として)

～ 一部に弱い動きがみられるものの、緩やかに持ち直している ～

最近の動きをみると、

○生産活動は、一進一退ながら弱含みとなっている。

○個人消費は、改善の動きに足踏みがみられる。

○観光は、改善している。

○公共工事は、減少した。

○住宅建設は、低下している。

○民間設備投資は、増加している。

○雇用動向は、弱含んでいる。

○企業倒産は、件数、負債総額とも増加した。

全体として、管内経済は、一部に弱い動きがみられるものの、緩やかに持ち直している。

なお、先行きについては、国際経済の動向等を十分注視する必要がある。

※ 下線部は、前月から判断を変更した部分。

2024年11月18日

照会先 : 経済産業省 北海道経済産業局
総務企画部 企画調査課

T E L : 011-709-2311 内線 2525

E-mail : bz1-hokkaido-kikakuchosa@meti.go.jp

管内経済概況判断の推移

(2024年11月現在)

発表月	2024年6月	7月	8月	9月	10月	11月	前月との判断比較
総括判断	緩やかに持ち直している	緩やかに持ち直している	緩やかに持ち直している	緩やかに持ち直している	<u>一部に弱い動きがみられるものの、緩やかに持ち直している</u> (↘)	一部に弱い動きがみられるものの、緩やかに持ち直している	
生産活動	一進一退の動きとなっている	一進一退の動きとなっている	一進一退の動きとなっている	一進一退の動きとなっている	<u>一進一退ながら弱含みとなっている</u> (↘)	一進一退ながら弱含みとなっている	
個人消費	緩やかに改善している	緩やかに改善している	緩やかに改善している	<u>改善の動きに足踏みがみられる</u> (↘)	改善の動きに足踏みがみられる	改善の動きに足踏みがみられる	
観光	改善している	改善している	改善している	改善している	改善している	改善している	
公共工事	<u>増加した</u> (↗)	増加した	<u>減少した</u> (↘)	<u>増加した</u> (↗)	増加した	<u>減少した</u> (↘)	
住宅建設	弱い動きとなっている	弱い動きとなっている	弱い動きとなっている	弱い動きとなっている	<u>低下している</u> (↘)	低下している	
民間設備投資	増加している	増加している	増加している	増加している	増加している	増加している	
雇用動向	弱含んでいる	弱含んでいる	弱含んでいる	弱含んでいる	弱含んでいる	弱含んでいる	
企業倒産	件数、負債総額とも増加した	件数、負債総額とも増加した	件数は増加、負債総額は減少した	件数、負債総額とも増加した	件数、負債総額とも減少した	件数、負債総額とも増加した	

注：下線部は、前月から判断を変更した部分。

上方修正 据え置き 下方修正

生産活動 ～一進一退ながら弱含みとなっている～

9月の鉱工業生産は、前月比+0.8%と4か月ぶりに上昇した。前年同月比は▲8.5%と4か月連続で低下した。上昇業種は、窯業・土石製品工業など8業種となった。低下業種は、化学・石油石炭製品工業など5業種となった。

<9月>

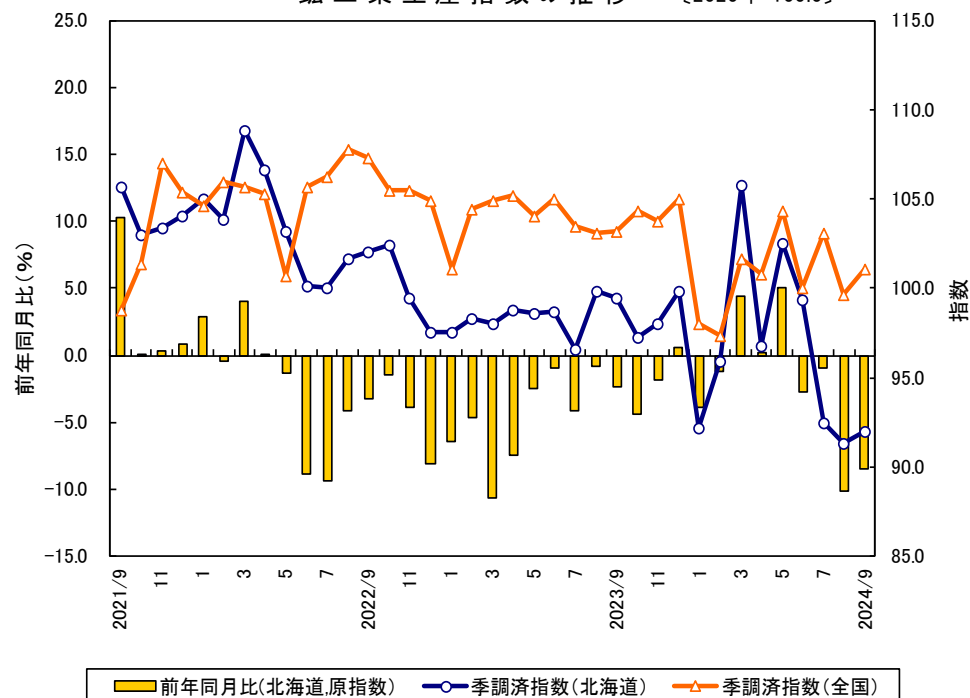
季節調整済指数

北海道（速報） 92.0（前月比+ 0.8%）

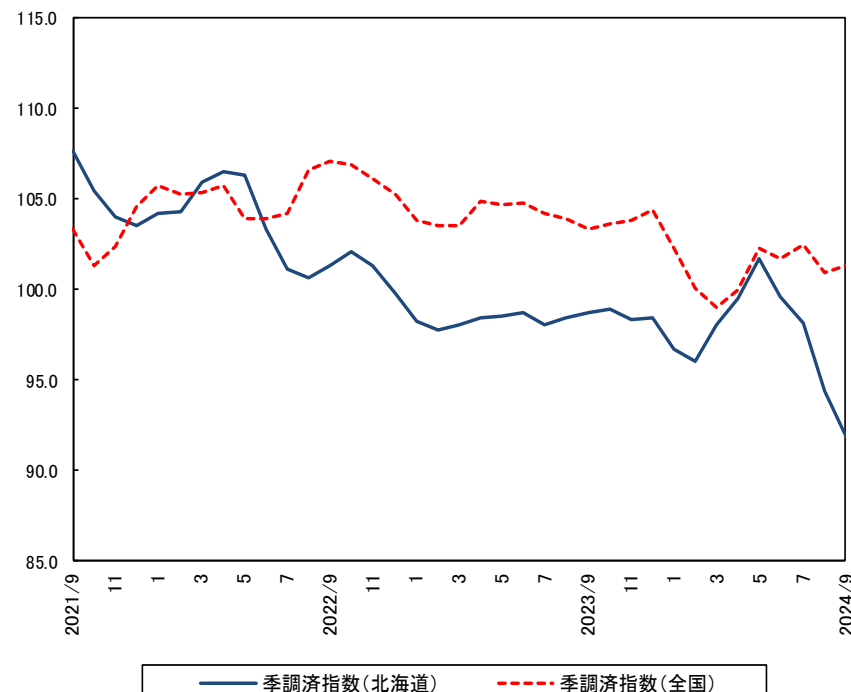
全 国（速報） 101.1（前月比+ 1.4%）

	業 種	前月比 (%)	前年同 月比(%)	主な品目
上昇 8業種	窯業・土石製品工業	+ 9.6	+ 0.1	セメント・同製品
	輸送機械工業	+ 7.1	▲ 4.4	自動車部品
	電気機械工業	+ 5.0	▲ 1.6	電気機械
低下 5業種	化学・石油石炭製品工業	▲ 18.2	▲ 48.4	化学・石油石炭製品

鉱工業生産指数の推移 [2020年=100.0]



鉱工業生産指数の推移(3か月後方移動平均) [2020年=100.0]



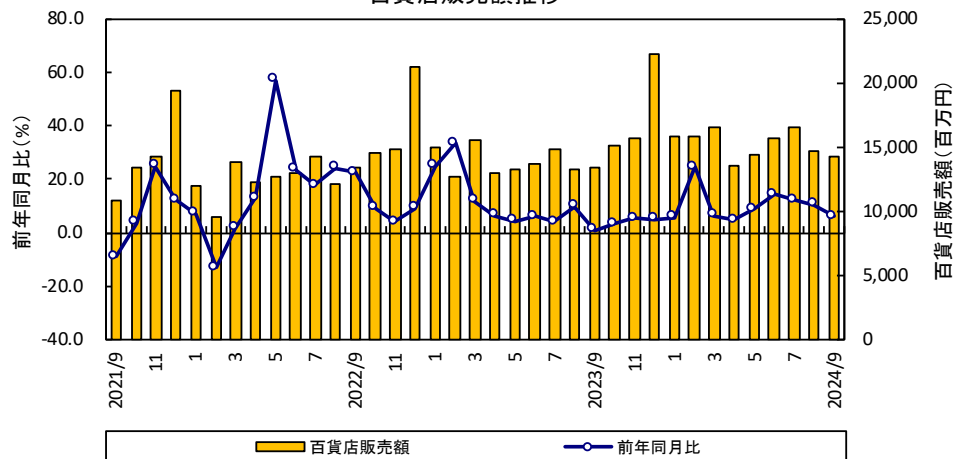
(資料：経済産業省、北海道経済産業局)

個人消費 ～ 改善の動きに足踏みがみられる ～

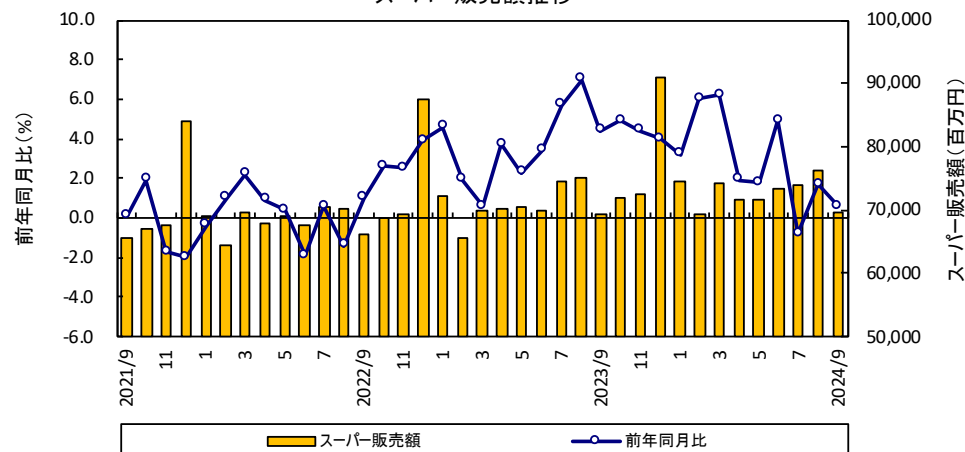
9月の個人消費は、コンビニエンスストア、家電大型専門店、新車販売が前年を下回り、他の4業態は前年を上回った。

- ・百貨店は、高級ブランドの商品などが売上げをけん引し、前年同月比+6.0%と31か月連続で前年を上回った。
- ・スーパーは、値上げの影響などから売上げが増加し、同+0.6%と2か月連続で前年を上回った。
- ・コンビニエンスストアは、同▲1.1%と3か月連続で前年を下回った。

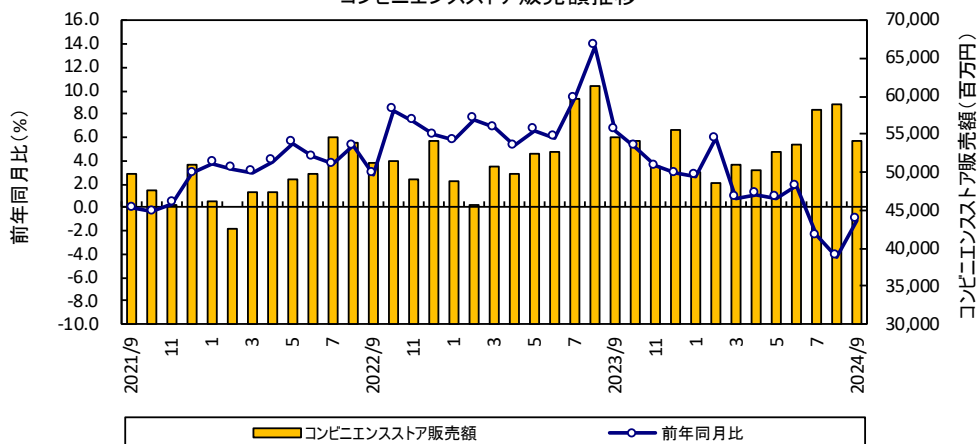
百貨店販売額推移



スーパー販売額推移



コンビニエンスストア販売額推移

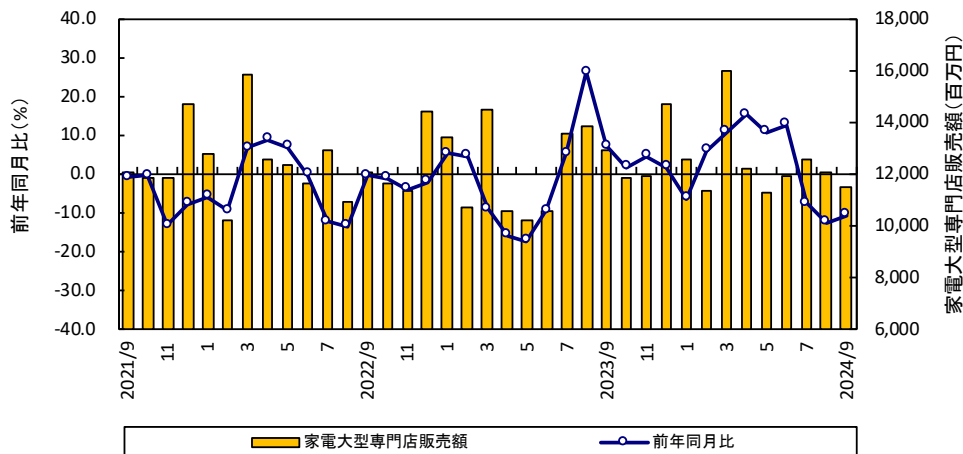


【ヒアリング内容】

- ・高級ブランドの商品や化粧品がインバウンド向けに好調で売上げをけん引した。また、前年よりも気温が低く、秋物の衣料品などの売上げが伸長した。(百貨店)
- ・値上げの影響から売上げが増加したほか、気温の影響からか、衣料品の売上げが好調だった。ディスカウントストアの客数の伸長やプライベートブランドなど低価格帯の商品への移行が引き続きみられた。(スーパー)
- ・菓子類などの売上げは好調なものの、残暑により好調だった前年の反動から、飲料などの売上げが伸び悩んだ。また、低価格帯の商品への移行が引き続きみられた。(コンビニエンスストア)

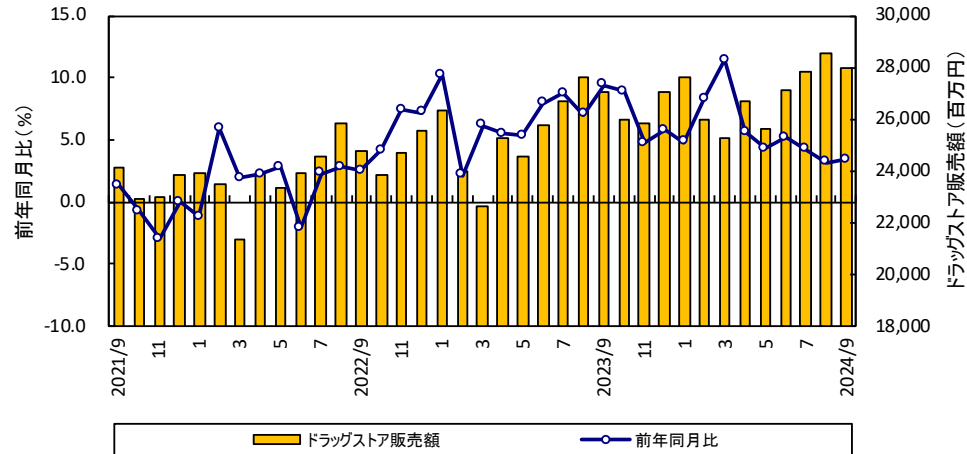
- ・家電大型専門店は、同▲10.7%と3か月連続で前年を下回った。ドラッグストアは、同+3.4%と27か月連続で前年を上回った。ホームセンターは、同+0.7%と2か月連続で前年を上回った。
- ・新車販売は、同▲4.7%と2か月連続で前年を下回った。

家電大型専門店販売額推移



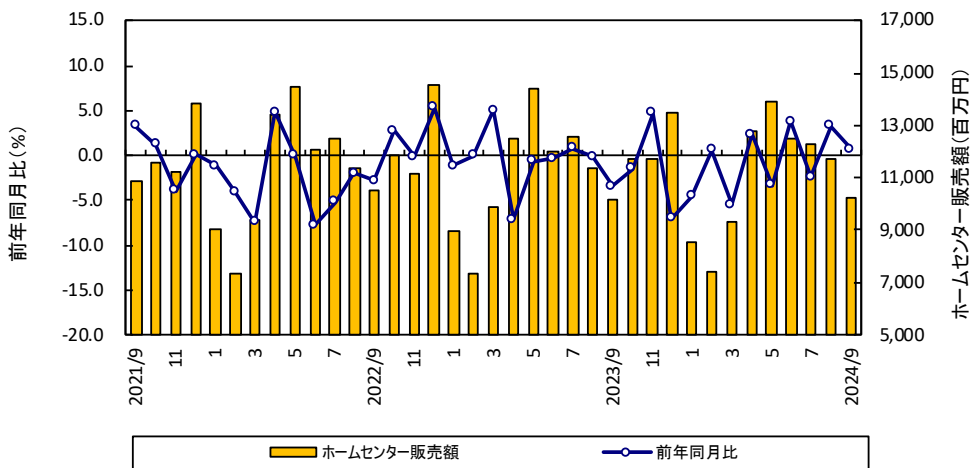
（資料：北海道経済産業局）

ドラッグストア販売額推移



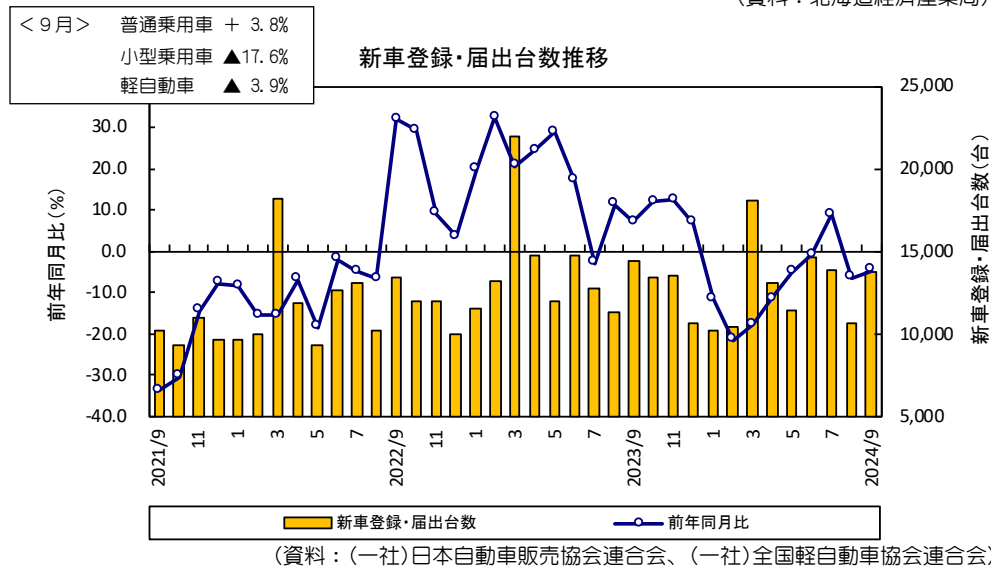
（資料：北海道経済産業局）

ホームセンター販売額推移



（資料：北海道経済産業局）

新車登録・届出台数推移



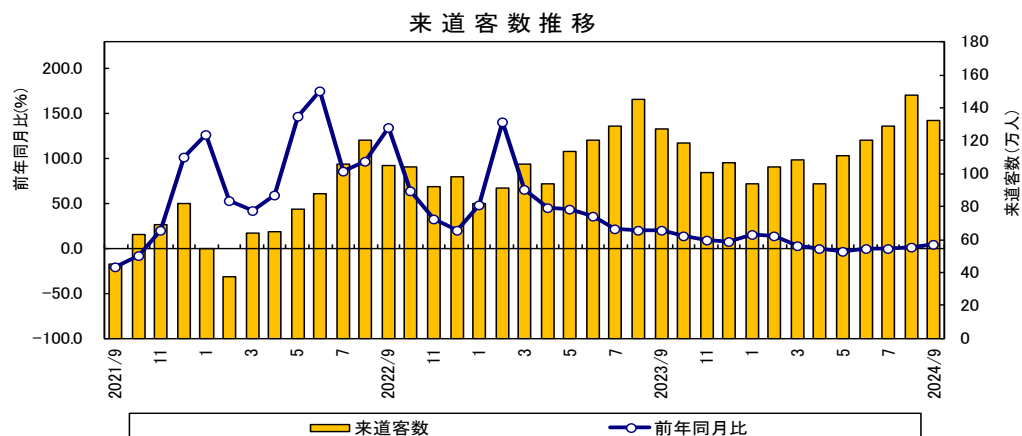
（資料：（一社）日本自動車販売協会連合会、（一社）全国軽自動車協会連合会）

【ヒアリング内容】

- ・売上げをけん引していたエアコンが前年を大きく下回ったことにより、売上げが前年を下回った。（家電大型専門店）
- ・アジアンコスメなど化粧品の売上げやインバウンドの売上げが引き続き好調だった。買い控えなどの傾向がみられているものの、値上げの影響から食料品などの売上げは伸長した。（ドラッグストア）
- ・エアコンの売上げは伸び悩んだものの、低価格帯の商品の売上げは好調だったほか、値上げの影響などにより売上げは前年を上回った。（ホームセンター）

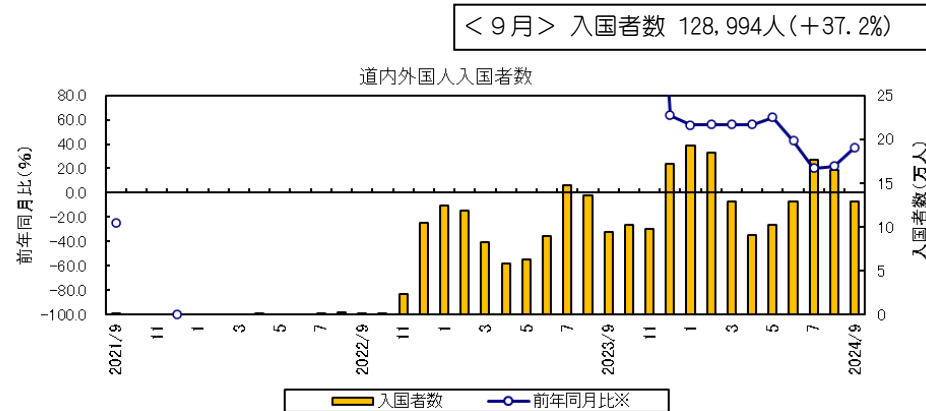
観光 ～ 改善している ～

9月の来道客数は、前年同月比+4.3%と2か月連続で前年を上回った。また、道内外国人入国者数は、同+37.2%と27か月連続で前年を上回った。



< 9月 > 来道客数 1,324,695人 (+4.3%)
 ※北海道外から航空機(国内線)、JR(北海道新幹線)、フェリーを利用して来道した旅客数。
 ※道内で入国手続きを行った外国人数は含まない。

(資料: (公社)北海道観光機構)

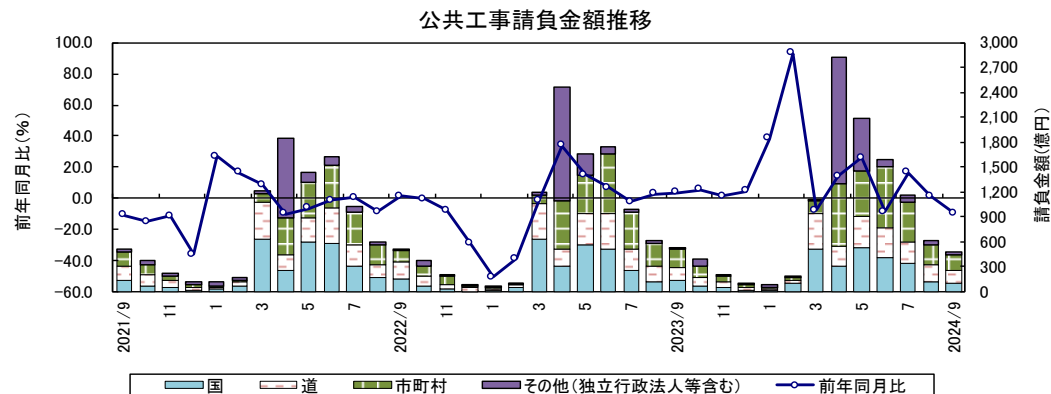


(資料: 法務省) ※2022/7及び9、2023/4及び7～11の前年同月比は著しく増加したため、便宜上表示していない。

- ・9月中旬にスポーツイベントが実施され、選手や関係者など多くの方が開催日前後に宿泊し、宿泊施設はほぼ満室となった。(観光協会)

公共工事 ～ 減少した ～

9月の公共工事請負金額は、その他は前年を上回ったが、国、道、市町村は前年を下回り、前年同月比▲9.4%と3か月ぶりに前年を下回った。



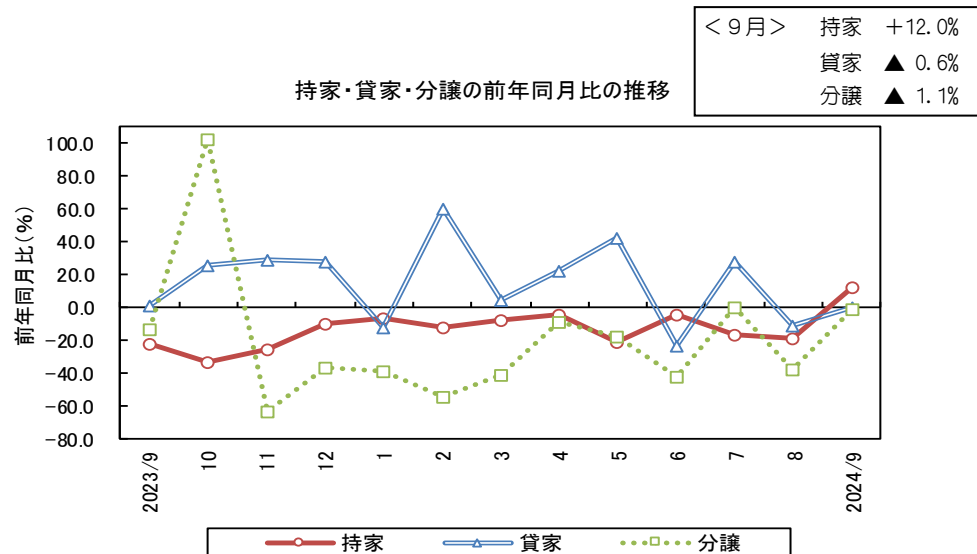
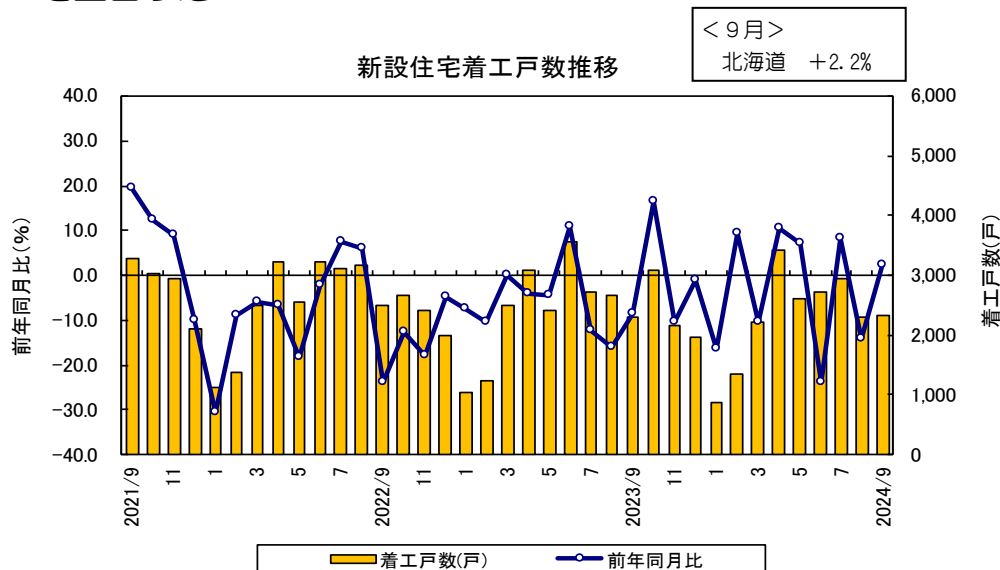
< 9月 >
 北海道 ▲9.4%
 (内 訳)
 国 ▲25.7% 道 ▲1.6% 市町村 ▲15.6% その他 +84.1%

(請負金額は国、道、市町村、独立行政法人等の合計額)

(資料: 北海道建設業信用保証(株)ほか2社)

住宅建設 ～ 低下している ～

9月の新設住宅着工戸数は、貸家、分譲で前年を下回ったが、持家は前年を上回り、前年同月比+2.2%と2か月ぶりに前年を上回った。



(資料：国土交通省)

民間設備投資 ～ 増加している ～

2024年度の設備投資計画は、全体で前年度比+22.9%と3年連続で前年度を上回った。

日銀短観の設備投資動向

2024年10月1日発表

	2023年度	2024年度
北海道	+ 3.0%	+ 22.9%
製造業	+ 24.6%	+ 32.4%
非製造業	▲ 4.7%	+ 18.6%
全国	+ 10.6%	+ 8.9%

注) 土地投資額を含み、ソフトウェア投資額、研究開発投資額を除く。

注) 北海道は、電気・ガスを除くベース。

(資料：日本銀行札幌支店)

法人企業景気予測調査(北海道・設備投資)

2024年9月12日発表

	2023年度	2024年度
全産業	▲ 13.8%	+ 22.4%
製造業	+ 27.9%	+ 28.0%
非製造業	▲ 23.5%	+ 20.2%

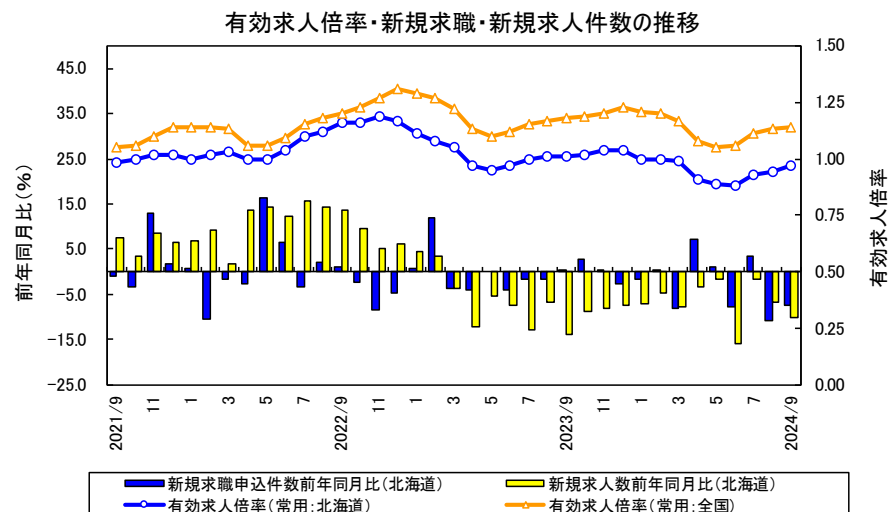
※数値は対前年比増減率。

注) ソフトウェア投資額を含み、土地購入額を除く。

(資料：北海道財務局)

雇用動向 ～ 弱含んでいる ～

9月の有効求人倍率は、0.97倍と前年同月差0.04ポイント低下し、18か月連続で前年を下回った。

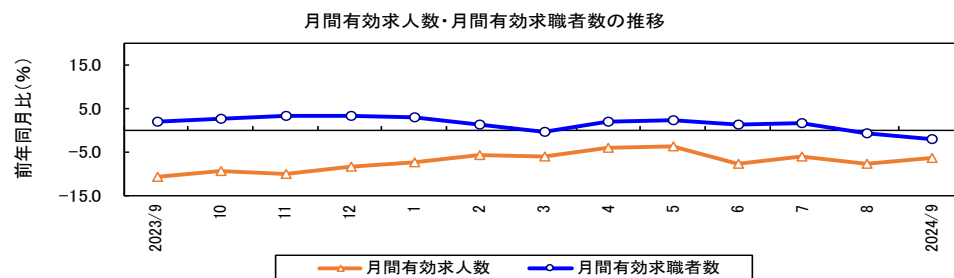


< 9月 >

北海道	有効求人倍率(常用)	0.97倍
	新規求職人数(前年同月比)	▲10.2%
	新規求職申込件数(前年同月比)	▲7.5%
全国	有効求人倍率(常用)	1.14倍

< 9月 >

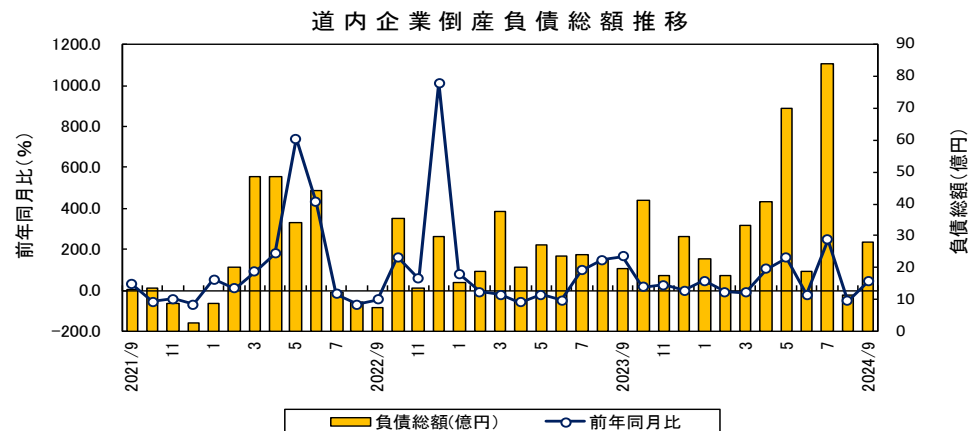
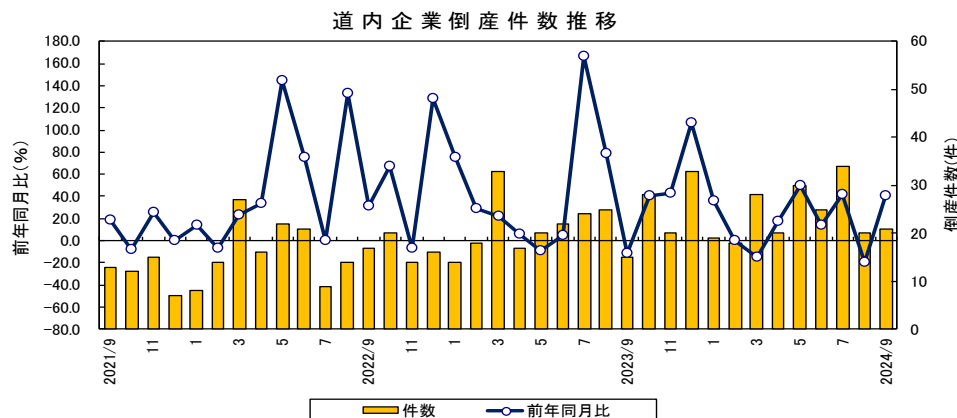
月間有効求職人数(前年同月比)	▲6.3%
月間有効求職者数(前年同月比)	▲2.0%



(資料: 厚生労働省、北海道労働局)

企業倒産 ～ 件数、負債総額とも増加した ～

9月の倒産件数は21件で、前年同月比+40.0% (6件増) と2か月ぶりに前年を上回った。また、負債総額は28億円で、同+43.3%と2か月ぶりに前年を上回った。



(資料: (株)東京商工リサーチ)